

'15

受験  
番号

前期日程

# 家政小論文問題

(教育学部)

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題に落丁，乱丁，印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
5. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
6. 時間は120分です。

## 問 題

日本の65歳以上の高齢者人口は2013年に3186万人を越え、総人口に占める割合は25.0%となり、人口、割合ともに過去最高となった。高齢化が進む中で、エイジズム\*という年齢による差別が問題の一つとなっているが、このような高齢者を取りまく問題状況を改善しながら、アクティブ・エイジング\*\* (活力ある高齢化)を実現するためには個人・家族・地域・社会がどうあればよいか。次の資料1～3のすべてを用いて、あなたの考えを述べなさい。(1200字以内)

\* エイジズムとは、年齢差別、特に高齢者に対する偏見と差別をいう。高齢者を、能力の劣ったものといった否定的なステレオタイプでとらえ、差別すること。

\*\* アクティブ・エイジングという用語は、世界保健機関が1990年に採用したものであり、「人々が歳を重ねても生活の質が向上するように、健康、参加、安全の機会を最適化するプロセス」と定義されている。

資料1 高齢者自身がかかえる悩みやストレスの内容と高齢者自身が重要であるとする「高齢者に対する政策や支援」

(複数回答) (%)

高齢者自身がかかえる悩みやストレスの内容	日 本	アメリカ	スウェーデン
1 家族との人間関係について	11.8	32.7	12.1
2 友人・知人との人間関係について	7.0	11.2	4.0
3 話し相手がないこと	3.9	7.6	4.3
4 生活費について	13.8	46.4	11.3
5 自分の介護について	9.5	32.2	15.3
6 自分の健康や病気について	41.0	54.2	36.0
7 同居している家族の健康や病気について	18.5	44.1	39.8
8 家族や親族に対する介護について	9.5	23.7	12.1
9 遺産相続について	2.5	7.6	1.6
10 子どもや孫の将来について	25.1	36.6	35.2
11 仕事のことについて	13.4	13.5	17.7
12 その他	6.9	5.0	15.9
高齢者自身が重要であるとする「高齢者に対する政策や支援」	日 本	アメリカ	スウェーデン
1 働く場の確保	24.3	66.4	42.1
2 公的な年金制度	57.6	80.2	76.8
3 老後のための個人的な財産形成(財形, 個人年金等)の支援	13.3	68.6	37.0
4 医療サービス	59.5	76.0	69.7
5 介護や福祉サービス	60.9	68.0	72.6
6 ボランティア活動のための場の確保	10.5	54.7	45.4
7 学習のための場の確保	8.5	48.6	26.8
8 高齢者向けの住宅	21.2	61.6	66.8
9 高齢者に配慮した街づくり(交通機関, 道路等の整備)	25.5	57.9	39.4
10 事故や犯罪防止(財産目当ての犯罪, 交通事故等)	16.9	54.4	49.0
11 高齢者の人権について, 一般市民の理解の促進	15.0	58.1	41.4
12 その他	1.7	3.1	3.0

出所) 内閣府「第7回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果」(2010年)より作成

(注) 「日常生活における悩みやストレスの内容」について, 日本1183名, アメリカ1000名, スウェーデン1054名の60歳以上の男女に聞いた結果である。

## 資料2 アクティブ・エイジングを実現する高齢者の事例

世界最高齢となる80歳で、三度目のエベレスト登頂を果たした冒険家 三浦雄一郎さん

なぜそこまでするのか…それは「エベレストが好きだ、登りたい!」という思いと、自分自身に秘められた可能性に対するワクワクする好奇心からです。

最初に登頂を決意した60代のときは、年齢や生活習慣病に囚われ標高500mの山も登れませんでした。今回は76歳での骨盤骨折や出発2ヶ月前の心臓不整脈手術を乗り越えての挑戦です。

目標があれば人は変わる。

意識と心と身体がひとつになれば新しい一步を踏み出せる。

出所) 三浦雄一郎「私はなぜ80歳でエベレストを目指すのか」小学館(2013年)より  
抜粋

## 資料3 高齢社会対策基本法(1995年公布)の概要

### 基本理念

- ・国民が生涯にわたって就業その他の多様な社会的活動に参加する機会が確保される公正で活力ある社会
- ・国民が生涯にわたって社会を構成する重要な一員として尊重され、地域社会が自立と連帯の精神に立脚して形成される社会
- ・国民が生涯にわたって健やかで充実した生活を営むことができる豊かな社会



### 高齢社会対策の4つの柱

- |          |          |            |         |
|----------|----------|------------|---------|
| 1. 就業・所得 | 2. 健康・福祉 | 3. 学習・社会参加 | 4. 生活環境 |
|----------|----------|------------|---------|